



日本子どもの本研究会 会員研修 ～どなたでも参加できます～

## 子どもの本を選ぶ（講義とワークショップ）

子どものための本選びはむずかしいですね。そこで今年は、①自分で読み、②選ぶ際の留意点を知り、③評価作業を体験することで、より具体的に「本選び」を学び、考えます。楽しく、実りある会にします。教師、保育士、読書ボランティア、司書、読書指導員等、子どもの読書にかかわる方のご参加をお待ちしています。

**2020年2月16日（日曜日）10:30～16:00（受付10:00～）**

**会場／国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 403号室**

小田急線参宮橋駅 徒歩下車約7分。東京都渋谷区代々木神園町3-1 電話03-3469-2525

**講師：土居安子さん**

（児童文学研究者、一般財団法人大阪国際児童文学振興財団理事・総括専門員）

10:30～12:15	(1) 絵本を選ぶ（講義とワークショップ）
12:15～13:10	昼休み
13:10～16:00	(2) 児童文学1を選ぶ（講義とワークショップ） (3) 児童文学2を選ぶ（講義とワークショップ） (4) まとめ

<課題本について> 以下の6冊をできるだけ全部読み、1冊に1枚「選ぶためのワークシート」（裏面。ホームページにもあり。同じ内容を紙に書いてきててもよい）を作成し、持参してください。提出しませんが、ワークショップで使います。

**絵本** 『うおいちば』安江りえ/文 田中清代/絵 福音館書店 2016年  
『すきですゴリラ』アンソニー・ブラウン/作・絵 山下明生/訳 あかね書房 2019年  
（または、1985年刊のものでも可）

**児童文学1** 『くまのこウーフ』神沢利子/作 井上洋介/絵 ポプラ社 1969年  
『ぺちゃんこスタンレー』ジェフ・ブラウン/文 トミー・ウングレー/絵 さくまゆみこ/訳  
あすなろ書房 1988年

**児童文学2** 『盆まねき』富安陽子/著 高橋和枝/絵 偕成社 2011年  
『おじいちゃんの口笛』ウルフ・スタルク/作 アンナ・ヘグルンド/絵 菱木晃子/訳  
ほるぷ出版 1995年

- 定員／60名（満員になり次第ホームページでお知らせします）
- 会費／会員1,000円、一般1,400円（資料込み）
- 担当／宇野和美 代田知子（当日の緊急連絡は、090-1800-4877<シロタ>まで）
- 申込方法／①ホームページ（<https://www.jasclhonken.com>）の会員研修申込フォームより申し込む。  
②FAX（03-4243-2512）で申し込む。↓

**\*\*<FAX用/会員研修会申込用紙>\*\* FAX03-4243-2512 \*\*\***

（ふりがな） 名前	いずれかに <input checked="" type="checkbox"/> を <input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 一般	所属・活動内容（あれば）
住所 〒	—	—
■電話（携帯電話など緊急連絡可能な番号を）		
<緊急連絡用> メールアドレス		

□絵本 □読物 を選ぶためのワークシート

年 月 日

(↑該当する方に☑を)

なまえ ( )

<p>本のタイトル</p>		<p>国</p>	
<p>書誌事項 (著者、画家、訳者、出版社、シリーズ名、出版年)</p>			
<p>※絵本の場合のみ記入 表紙の特徴 (表紙の絵やタイトルについて気づいたことを書いてください)</p>			
<p>登場人物: (主人公に○、動物も含みます)</p>			
<p>構成 (全体を便宜上4つに分けてみて、それぞれに何が書かれているかを簡単にまとめてください)</p>	<p>起:</p> <p>承:</p> <p>転:</p> <p>結 (結末):</p>		
<p>視点 (視点人物があれば。誰の視点で描かれているか?)</p>			
<p>作品の特徴 * 絵本の場合 (ジャンル、テーマ、題材について、ユニークな絵やことばの表現など、気づいたこと何でも) * 読物の場合 (ジャンル、テーマ、題材について、文体、タイトルと作品の関わりなど、気づいたこと何でも)</p>			
<p>対象年齢・ふさわしい対象</p>			
<p>選評</p>			